

令和元年度職員採用試験（第2回社会人経験者）  
総合土木 専門記述試験（元. 10. 20）

次の2つの課題のうち、いずれか1つについて回答しなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○ 持続可能なまちづくりについて

広島県の人口は、1998年の288万人をピークに減少しており、国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成25年3月）によると、2040年には239.1万人に減少すると予測されています。

広島市のような都市地域においても、年少人口、生産年齢人口は減少傾向にある一方で、65歳以上の老年人口は増加する傾向にあります。

また、人口規模の小さい市町や中山間地域などでは、今後急激な人口減少が進んでいくことが予測されています。

このような中、広島県としては、今後の人口減少社会を踏まえながら「持続可能なまちづくり」に取り組んでいく必要があります。

そこで、都市地域及び中山間地域における現状・課題を述べたうえで、その課題についてどのような対策が効果的か、総合土木技術職員の立場から、あなたの考えを具体的に述べなさい。

＝ 課 題 2 ＝

○ 園芸品目等の栽培に適した基盤整備について

広島県では「産業として自立できる農業の確立」を目指して、意欲ある農業者や経営力のある担い手へ農地を集積し、水稻中心から収益性の高い園芸品目等（キャベツ、レタス、アスパラガス、トマト、ホウレンソウ、レモン等）への生産拡大を促しています。

この施策を実現するためには、どのような基盤整備が必要か、あなたの経験を踏まえて述べなさい。